

私たちは高齢者の生きがいづくりを目指します

シルバー まねごと

令和4年1月25日発行 第105号

公益社団法人

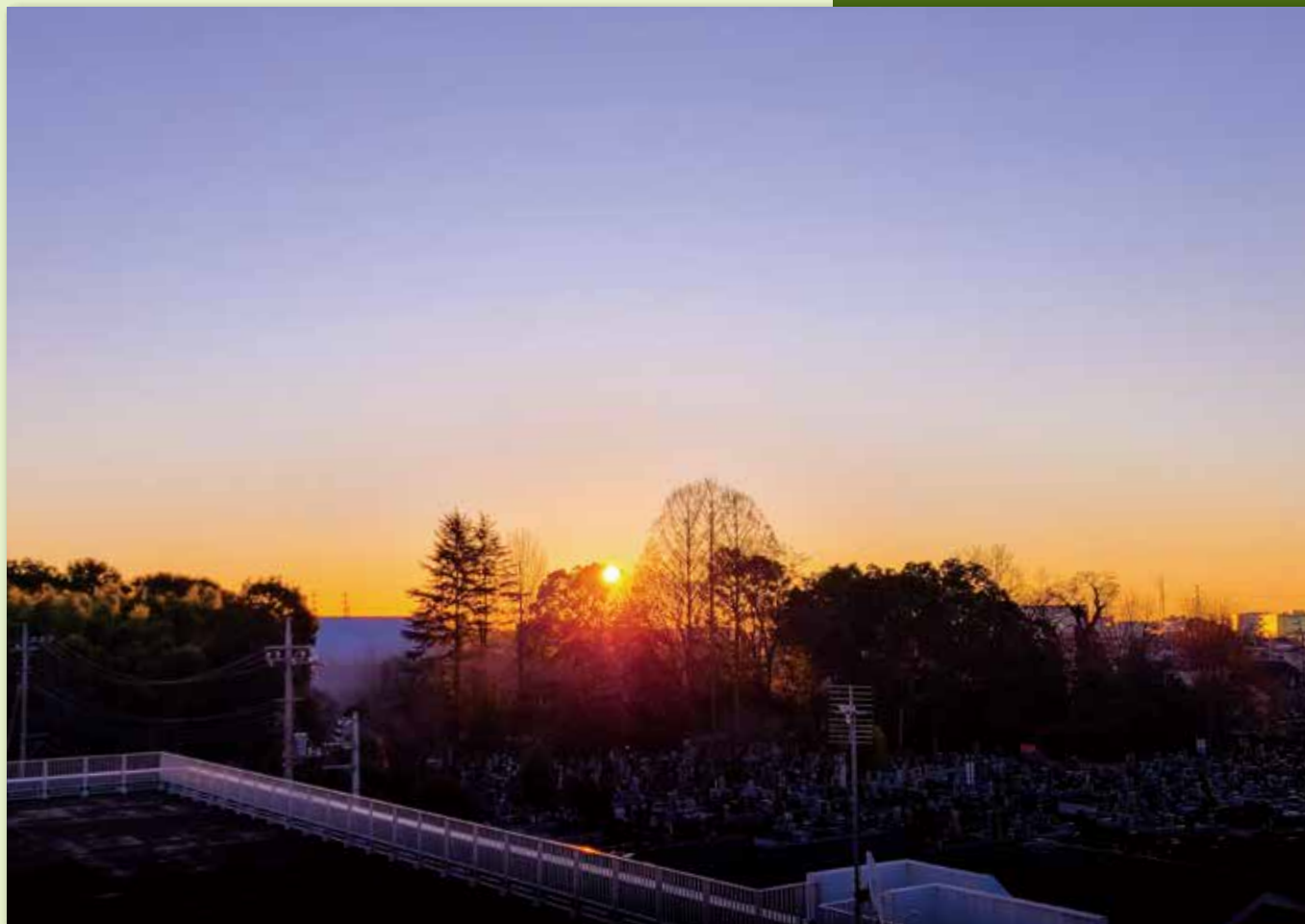
坂戸市シルバー人材センター

〒350-0212 坂戸市大字石井2327-5

TEL(283)5544(代表)

FAX(289)3733

企画・編集 広報部会



坂戸市ワークプラザ屋上より撮影

第105号 主な内容

- 2、3 令和4年 年頭挨拶
- 2、3 令和3年度事業実績報告
- 4、5 部会・委員会情報
- 6 事業活動報告、他
- 7 健康情報
- 8 健康ウォーキング講座、会員の広場
- 9 理事会報告、新入会員の紹介
- 10 事務局からのお知らせ、他

会員状況

令和3年12月31日現在

男 / 676人 (15人減)

女 / 434人 (23人減)

計 / 1110人 (38人減)

()内令和3年4月1日より増減

令和四年 年頭挨拶



理事長

栗原厚夫

会員皆様には、穏やかな新年をお迎えるのことと心よりお喜び申し上げます。平素より、当センターの事業運営に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年引き続き、依然としてコロナ禍での厳しい事業活動を余儀なくされており、会員数及び契約金額の減少傾向が続いております。そのため、就業開拓を目的とした役員による企業訪問や、地区役員・班長さん等によるポスティングの実施をしております。また、連合主催の会員拡大キャンペーンの活用やセンター独自の会員紹介キャンペーン、区・自治会への回覧、広報へのPR記事掲載等による新会員募集に努めるとともに、定期的な就業現場の巡回により、更なる安全就業の徹底に取り組んでおります。

さて、昨年は、会員皆様をはじめ多くの関係皆様に支えられながら、当センターが設立40周年の節目の年を迎えることができました。新型コロナウイルス

感染拡大の影響もあり、祝賀的な催しは割愛させていただきましたが、記念誌編集委員会のご尽力と原稿依頼や取材に、気持ちよく応じていただいた会員さんのご協力によりまして、配布先からも高い評価をいただけるような記念誌を発行することができました。関係皆様には改めて感謝申し上げます。引き続き会員皆様と一丸となり、高齢者の能力を活かしながら地域のかげ橋となれるよう努力してまいります。

昨年の大河ドラマで、本県出身の偉人渋沢栄一の生涯が親しみやすく描かれていましたが、長寿を全うされた渋沢子爵が好んだ言葉を紹介し、結びにしたいと思います。

「四十、五十ははなれたれ小僧、六十、七十は働き盛り、九十になって迎えが来たら、百まで待てと追い返せ」
会員皆様のご健勝ご多幸を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

●会員の入退会状況

令和3年4月1日			入会者数			退会者数			令和3年12月31日			
会員数									会員数			
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	前年比
691	457	1,148	52	37	89	67	60	127	676	434	1,110	98.6%

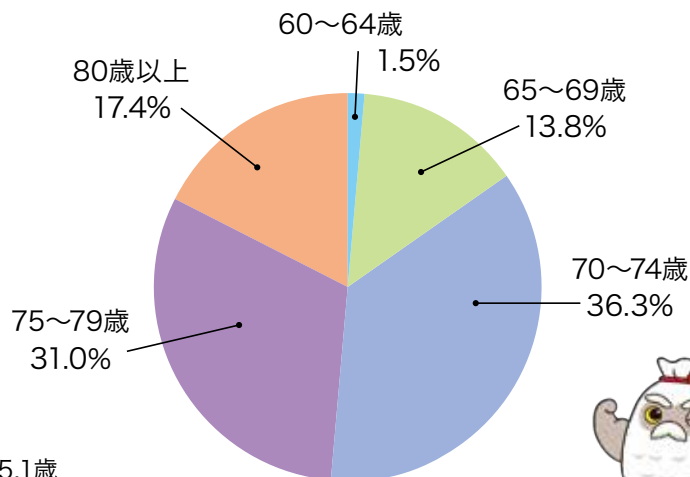
※入会率…男4.2%、女2.3%、全体3.2% (12月末の会員数÷12月末の坂戸市60歳以上人口、35,095人)

●会員の年齢状況

年齢	(人)		
	男	女	計
60～64歳	5	12	17
65～69歳	91	62	153
70～74歳	239	164	403
75～79歳	206	138	344
80歳以上	135	58	193

※最高年齢…男：98歳、女：87歳

※平均年齢…男：75.5歳、女：74.6歳、全体：75.1歳



令和3年度事業実績報告

12月分迄

令和四年 年頭ご挨拶



顧問 坂戸市長

石川 清

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

当センターにおかれましては、コロナ禍という厳しい状況においても、会員皆様の不断のご努力によりまして、着実に事業実績をあげておりますことに心から敬意を表するとともに、日頃から感染予防対策の徹底にご協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。全国的に感染者数が増加しておりますので、皆様には引き続き感染から身を守る行動をお願いいたします。

昨年、本市では、新型コロナウイルススワクチンの円滑な接種体制の構築に尽力したほか、子どもと高齢者のインフルエンザ予防接種の全額助成や新生児一人当たり10万円の給付、学校給食費の4カ月間無償化など、状況を見極めながら本市独自のコロナ

ナ支援策を講じてまいりました。

また、コロナ禍においても着実に各種事業を進めており、その一つ、環境の変化に敏感で環境指標生物とも言われるミツバチの飼育から、季節の花の風味が薫るハチミツの採蜜・販売を行う、新事業の「ミツバチプロジェクト」は、豊かで健全な自然環境をつくる取り組みとして各方面から好評をいただいております。

本年におきましても、市民の皆様が安心していきいきと暮らせるよう、市民目線でやさしいまちづくりを推進してまいりますので、会員皆様の変わらざるご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、日頃からの市政へのご協力に感謝を申し上げますとともに、坂戸市シルバー人材センターの益々のご発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈念し、年頭のあいさつといたします。

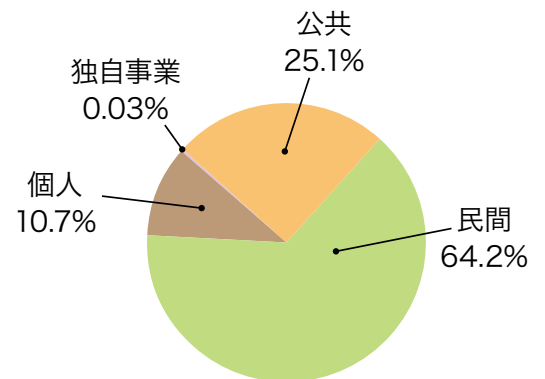
●4月～12月の事業実績

区分	令和3年度	令和2年度	増減	前年比
受注件数	2,508件	2,621件	▲113件	95.7%
契約金額	413,202千円	409,373千円	3,829千円	100.9%
就業実人員	878人	756人	122人	116.1%
就業延人員	87,872人	87,016人	856人	101.0%
就業率	79.1%	77.7%	1.4%	101.8%



●契約金額の内訳(4月～12月)

区分	令和3年度	令和2年度	前年比
公共	103,895千円	96,758千円	107.4%
民間	265,105千円	267,140千円	99.2%
個人	44,092千円	45,429千円	97.1%
独自事業	110千円	46千円	239.1%
合計	413,202千円	409,373千円	100.9%



●派遣契約の事業実績(4月～12月)

公益財団法人いきいき埼玉シルバー人材センター連合坂戸市事務所として実施

登録会員数	受注実件数	就業延人数	契約金額
151名	14件	6,369名	34,622千円 (前年比) 99.0%

総務部会

リーダー研修会開催

11月29日(月) ワークプラザにて令和3年度のリーダー研修会が開催されました。今回のテーマは「超高齢化社会におけるシルバー人材センターの役割」です。

栗原理事長からは、風通しの良い組織作りのリーダーの役割についての話があり、又インボイス制度導入について説明がありました。(下記参照) 池田専務理事からは、会員数、契約金額増の現状と推移及び経営基盤の強化に向けた対策について報告されました。市民参加型の研修会、PR広報活動などすでに実施されています。

続いて、吉川事務局次長から「デジタル化に対応したセンターの取組」について講演がありました。リニューアルされる予定のホームページの活用、SMSによる情報入手などデジタル化は高齢者にとっても大きな武器となります。

総務部会 記



携帯『ショートメッセージ(SMS)サービス』について

会員皆様のスマートフォン等に、センターから各種お知らせを一齐送信するサービスです。送信元の電話番号は契約会社ごとに異なります。番号をアドレス帳に登録すると便利です。不明な点は事務局へお尋ねください。

NTTドコモ、au、楽天モバイルの方

050-5491-4105

ソフトバンク、Y!モバイルの方

242244

※上記番号には返信できません。



配分金には消費税が含まれています

シルバー人材センターの会員として就業される場合、主に2つの就業形態があり、**請負就業**と**派遣就業**に分かれます。そこで2つの違いを見てみましょう。

請負就業では、支払われるお金は「配分金」であり、雑所得として扱われます。また、会員は個人事業主となり「配分金」には**消費税が含まれています**。

派遣就業では、支払われるお金は「給与」であり、給与所得として扱われます。また、雇用契約に基づいて支払われる「給与」には**消費税が含まれていません**。

消費税については令和5年10月よりインボイス制度が導入される予定です。導入されれば配分金に係る消費税の取扱いが変わる可能性があります。まだはっきりしない点が多い状況です。状況については、わかり次第、皆様にお知らせいたします。

会員さんの配分金のしくみ

配分金本体 10,000円

消費税 1,000円

配分金11,000円の場合

総務部会・家事支援委員会

第2回入会促進活動及び、
就業開拓活動

10月29日(金)厚川、森戸、萱方、欠ノ上、四日市場へチラシポスティングのため大家公民館駐車場に集合、総務部会、家事支援委員会合計10名集まり500枚配布しました。

当日は秋晴れの大変良い天気で広々とした田畑地帯、気持ち良くポスティングが出来ました。

家事支援委員会 記

事業部会

就業開拓のポスティング実施

10月20・21日の2日間、浅羽野・花影町・三光町・中富町の戸建て住宅を対象に実施しました。天気にも恵まれ、年末に向けての「網戸・障子・襖張替」チラシ900枚を配布しました。その後、受注も多数いただき、ポスティングの必要性を実感しました。



公共施設へのポスター・チラシ
設置依頼

12月16日、市内の公民館や図書館等の公共施設に会員増強を図るため、「センター年会費無料キャンペーン」のポスター及びチラシを持参し、快く掲示等していただくことになりました。

接遇講習会開催

会員の皆様には、コロナ禍が続き講習会が出来ずにおりましたが、11月24日(水)ワークショップにて講師に細田恵子氏を迎え、受講者36名にて実施することが出来ました。「対応はこころで」「表情や姿勢の大切さ」「言葉遣いの基本について」経験談を踏まえて有意義な講義がなされ、お客様(利用者)への「基本対応」について学びました。

事業部会 記



安全就業委員会

交通安全講習会開催

12月9日(木)ワークショッププラザに於いて開催しました。

昨年は、コロナ禍で開催出来ませんでした。今年は、コロナ感染の状況を考え、参加対象を車を利用する機会が多い除草・草刈りの2班に限定し、開催をし、50名の参加者でした。

西入間警察署の浅瀬交通安全教育講師をお迎えし、日常の交通安全対策についてお話をいただき、その後、映像を見ながら実例を上げる講習がありました。



その中で特に注意が必要なのは、**車共に信号の確認が重要**であり交通事故を防ぐことに繋がるとのことでした。

又、今なお多発している振込め詐欺について

- 家にも留守電
- 必ず本人に確認、合言葉を決める
- 電話での還付金は無い

の3点を強調され、大変有意義な講習会となりました。

安全就業委員会 記

事業活動報告

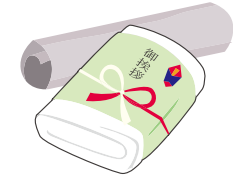
役職員による就業開拓巡回を実施

去る11月30日、12月1・3日の3日間、会員理事と事務局で主に継続的に仕事をいただいている事業所等61か所を訪問しました。

コロナ禍が続いていることでもあり、昨年に引き続き、受付入り口等でのご挨拶となりました。

カレンダー等を持参し、日頃のお礼と、埼玉県の最低賃金改定の説明をするとともに、センター事業のPRをし、就業機会の確保・拡大（派遣事業も含む）を図りました。

齊藤理事 記



富士見工業会防犯パトロールの実施

富士見工業団地工業会主催

防犯パトロールに参加

12月17日、年末恒例の工業団地防犯パトロールに2年ぶりに参加しました。今回も当センターからボランティア活動の一環として15名が参加しました。工業会前を午後5時に2組に分かれスタート、工業団地内道路から若葉台通りに入り、途中、防犯灯をチェックしながら約4キロを巡回し集合場所のワカバウォークに到着、5ブロック全員到着、主催者の挨拶後、集合写真を撮り、午後6時に解散となりました。

高岸副理事長 記



就業紹介

家庭ごみ集積所看板修正用シール貼り付け業務を実施しました

この業務は、坂戸市が環境省のモデル事業（リチウムイオン電池等処理困難物適正処理対策）を実施することになり、当センターが環境省の委託を受けた「株式会社三菱総合研究所」と契約して実施いたしました。

内容は、市内約2500か所の家庭ごみ集積所に設置してある看板に、指定の分別修正シールを貼り付けるなどであり、会員31名で実施いたしました。

破損していたり、看板そのものが無かったり、場所が変わって探し回ったり等、苦労もありましたが、無事終わることができました。

事務局 記



最高齢会員も就業

健康コラム

こたつで眠ることの悪影響についてお話しします。

結論から言うと十分な睡眠がとれないことと、脱水症状により健康に悪影響を及ぼすことです。

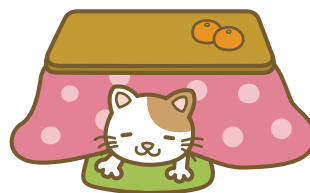
こたつに入ると眠くなりますね。眠くなる時というのは、深部体温より皮膚温が高い状態となります。こたつに入ると皮膚温が上昇して、手足から熱が放散され、相対的に深部体温が下がり眠くなります。

こたつに入って眠っていると足や膝裏に局所的に汗をかき、気づかぬうちに脱水になりやすいです。冬場は乾燥で脱水になりやすく、血液ドロドロ、血栓ができ、脳に起きれば脳梗塞の危険があります。また小腸や大腸に脱水が起これば便秘症になります。

こたつの中では寝返りが打ちにくく、血行が悪くなる、一か所に負担がかかり腰痛、肩こりなどの原因になり、眠りも浅く、睡眠の質が低下し睡眠不足に陥ります。

こたつに入るときは水分補給を行い、眠くならないように座り方の工夫、いつも眠くなる時間に風呂に入る、歯磨きをするなどの対策をされると良いと思います。

公益財団法人いきいき埼玉 業務委託産業医 牛久保 修



ご近所型予防体操 3種類の筋力運動

★コロナ禍で外出を控えるなど活動量が低下し、体力低下などからだの不調を訴える方が多くいるといわれています。

★今回は、この活動量低下を予防するための筋力運動をご紹介します。

★ご自身の身体の状態に合わせて、実践してみてください。 <参考文献>・彩の国の「Partner」理学療法ニュース



1 膝を伸ばす・足首を反らす

効果 ●腰の痛みを予防できる
●歩くときにつまずきにくくなる



2 膝を後ろに上げる

効果 ●歩くのが早くなる
●支える力がつき転びにくくなる



3 膝を横に上げる

効果 ●安定して歩けるようになる
●支える力がつき転びにくくなる



老人福祉センター
自主事業

健康ウォーキング講座

令和3年11月19日(金)

主催 坂戸市立老人福祉センター指定管理者
公益社団法人坂戸市シルバー人材センター



城西大学構内

多和田天神橋

11月19日(金)、講師に坂戸ウォーキングクラブから加藤展宏氏ほか2名をお招きし、城山荘にて21名の参加をいただき開催されました。

参加者は集会室にて歩き方の基本などを学んだのち、実習で絶好の秋晴れの中、多和田天神橋や城西大学など城山エリア約5kmのウォーキングを楽しんでいただきました。

次回は3月29日(火)ことぶき荘にて開催しますので、参加してみませんか？



投稿作品



入西こはるが池
撮影：齊藤 慶子



散歩の楽しみ

日本一長い足湯
「ほっとふっと105」
雲仙市にて
撮影：菅野 巨光

会員の広場

短歌

もういかイヤまだだと3年目
新種あらわれマスクはずせぬ

けいこ

川柳

幼子に 目で笑いかければ

笑み返る
ばあば

俳句

ここはさみ 入れよう迷い 帰り花
山笑う グランドゴルフ 足わらう
黄帽子見 eスポーツ劇 小春日や

坂口 和子

令和3年度理事会報告(8月～12月)

【第6回理事会】

令和3年8月

①書記の任命 ※書面議決

②新規登録正会員の承認

(男性1名 女性1名 合計2名)

③役員利益相反取引の承認

④報告事項 2件

【第7回理事会】

令和3年9月

①書記の任命 ※書面議決

②新規登録正会員の承認

(男性7名 女性4名 合計11名)

③報告事項 4件

【第8回理事会】

令和3年10月28日

①書記の任命

②新規登録正会員の承認

(男性7名 女性8名 合計15名)

③補正予算(第1号)の承認

④特定費用準備資金の積立及び活動計画書の変更の承認

⑤役員利益相反取引の承認

⑥報告事項 4件

【第9回理事会】

令和3年11月25日

①書記の任命

②新規登録正会員の承認

(男性10名 女性4名 合計14名)

③報告事項 4件

【第10回理事会】

令和3年12月16日

①書記の任命

②新規登録正会員の承認

(男性6名 女性1名 合計7名)

③報告事項 3件

新入会員の紹介

新入会員名簿

【8月入会者】(2名)

(坂戸中央地区) 松島 久枝

(坂戸東地区) 鈴木 廣幸

【9月入会者】(11名)

(三芳野地区) 町田 光男

(入西地区) 岩橋 愛子

(大家地区) 梶田 ちさ子

(北坂戸地区) 古賀 隆

(坂戸中央地区) 桑田 敏行

(坂戸中央地区) 橋爪 志津子

(坂戸東地区) 古賀 清子

(坂戸東地区) 小倉 育之進

(坂戸東地区) 古賀 正博

(坂戸東地区) 鳴嶋 邦夫

(坂戸東地区) 松本 稔

【10月入会者】(13名)

(勝呂地区) 小林 平三郎

(大家地区) 中津 光司

(坂戸中央地区) 高山 登代子

(坂戸中央地区) 石黒 三雄

(坂戸中央地区) 矢田貝 佳克

(坂戸東地区) 服部 春雄

(坂戸東地区) 中塚 照明

(坂戸東地区) 宮崎 京子

(坂戸東地区) 福田 多恵子

(坂戸東地区) 扇田 佐和子

(坂戸西地区)

福園 和昭

西城 利子

野澤 芳江

【11月入会者】(14名)

(勝呂地区) 大家 邦男

(大家地区) 新井 照雄

(北坂戸地区) 濱田 貴美代

(北坂戸地区) 加藤 謙次郎

(坂戸中央地区) 高木 晶子

(坂戸中央地区) 岡部 俊朗

(坂戸中央地区) 金子 米作

(坂戸東地区) 新井 栄一

(坂戸東地区) 田村 修

(坂戸東地区) 高橋 克弘

(坂戸西地区) 高山 抱夢

(坂戸西地区) 前澤 孝枝

(坂戸西地区) 福田 友紀子

(坂戸西地区) 町井 速夫

【12月入会者】(7名)

(勝呂地区) 渡辺 明

(入西地区) 松橋 かほる

(大家地区) 町田 武

(坂戸中央地区) 飯島 正二

(坂戸西地区) 栗原 渉

(坂戸西地区) 桜井 靖

(坂戸西地区) 伊藤 道彦

事務局からのお知らせ

配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取扱いは、以下のとおりです。

1.配分金収入は、所得税法上「雑所得（業務）」に区分されます。

配分金収入等－実際にかかった経費の額(必要経費) = 雑所得の金額

(注) 公的年金の所得も雑所得となりますが、別計算となります。

公的年金の収入金額－「公的年金等控除額」 = 公的年金の雑所得の金額

2.シルバー人材センターから配分金等を受ける方については、実際にかかった経費の額が55万円未満でも、必要経費として55万円(令和元年前は65万円。以下同じ。)まで(収入金額が限度)認められる特例があります。(租税特別措置法 第27条)

3.給与の収入金額が55万円以上ある会員は、2の特例は受けられません。

4.給与の収入金額が55万円未満の会員は、次の①と②のうち高い方が必要経費となります。

① 55万円からその給与にかかる「給与所得控除額」を差し引いた残額

② 実際にかかった経費の額

※上記以外の収入がある場合等については、川越税務署(Tel.235-9411)にお尋ね下さい。

令和3年度 センター事業の中止について

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度計画していた次の事業が中止になりました。参加を予定されていた皆さまには大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

- ◆2月5・12日 事業報告会
- ◆2月 清掃講習会(事業部会)
- ◆3月 ことぶき荘まつり

編集後記

新年おめでとうございます。昨年はおめでとうございます。昨年は、コロナ禍での大変な一年でした。

第6波・新変異株等、まだまだ心配が尽きない状況下ですが、生活環境も少しずつ緩和されてきています。

今年こそ、自粛しながら徐々に平常生活に戻る事、そして会員皆様の参加でシルバー恒例の行事も実施され、皆様の笑顔の写真や記事を本誌に掲載できる事を願っております。

今年も「シルバーさかど」のご愛読と、ご意見・ご希望・作品の投稿等お寄せ頂きたく、よろしくお願いたします。

皆様にとって健やかで良い年でありませうように！

高橋 孝子 記



新井 昭夫様 坂戸西地区2班 享年八十二歳
菅原 廣美様 勝呂地区1班 享年七十六歳
謹んでご冥福をお祈りいたします